

市民の方からのお問い合わせから

☆高齢者いきいきサロンの助成の継続は

高齢者いきいきサロンは、市内に359ヶ所。岡山市と連携する岡山市社会福祉協議会の独自事業です。

当初3年間は年額2万円の助成金がありますが、その後も必要ではないかというお問い合わせです。

そうしたご要望のなかで、現在のところ2020年までは、申請をすれば年額1万円の特別助成があります。

サロンへのお取り組みに、心から敬意を表します。



『おokayama通いの場マップ』に「認知症カフェ」などととも掲載。

☆「ももちゃり」のポートを増やしてほしい

2013年7月の「ももちゃり」導入から5年。ポートは35ヶ所に展開され、市民や観光客の足として定着してきました。



1台当たりの1日平均貸出回数は全国トップクラスですが、採算面では、2016年度は約400万円の赤字。ポート設置場所については、多くのご要望が来ているということです。効率のよいポート配置や料金体系の見直しを検討中です。

☆小中学校へのクーラー整備状況は

岡山市は今年度、まず、中学校の普通教室への整備に着手。実施設計の段階です。中学校への導入後、小学校も検討するという。これだけ猛暑が続くと、子どものために、小学校へもスピードアップが望まれます。

こんなスポット/児童家庭支援センター「どんぐり」

岡山市にはじめての「児童家庭支援センター・どんぐり」が、7月1日にオープンしました。子どもや家庭の困りごとに、365日24時間対応するセンターです。専門職の方が相談に乗ってくださいます。覚えておいてください。対面の時間は、9時～18時、電話相談は24時間です(086-237-7373)。



編集後記 ★『歯ブラシも箸一つもなかった』。悪夢のような災害の爪痕は深い。復興はこれから。☆西日本豪雨災害支援に専念すべきところ、カジノ法が審議不足のなかで成立しました。政治とは「いのち」を尊ぶものではないのか。



※鬼木のぞみの活動日誌は、ブログ・フェイスブックをご覧ください。 http://yaplog.jp/niji_oni/ 携帯でもどうぞ。

のぞみ日誌から

京山地区 ESD 活動「春の環境てんけん 2018」

地域の子どもや若者たちを中心に約100人が参加しました(5.12)。写真は、観音寺用水での生き物調べ。私ははじめての胴長靴です。地域として継続して「環境てんけん」を行っているのは素晴らしいです。高校生や大学生が中心になってがんばっている姿が嬉しいです。



児童養護施設の子どもたちと「花育ワークショップ」

「ぐるーん」の企画です(5.19)。のびやかな雰囲気の中で、一人ひとりの子どもに大人がパートナーとして寄り添って、子どもの心の思うままにお花をアレンジしていきます。もう9回目になるのです。子どもの発想と工夫は素晴らしいです。



チューリップの会 10周年、おめでとうございます

「チューリップの会(子どもの社会参加を考える会 in 京山)」が10周年総会を行いました(6.4)。お仕事体験をベースに、子ども視点で地域に根ざして活動をしてこられました。私はどんなに多くのことを学んだことでしょうか。私の安心の源でもあります。

楽しかった「きたながせスープ」

北長瀬の操車場跡地にできる新公園「岡山西部総合公園(仮称)」ここで市民一人ひとりの「やってみよう」を実現しようというチャレンジが始まっています。オープニングイベント「きたながせスープ」(5.27)は温かなエネルギーでいっぱいでした。写真は「みんなで農園を作ろう」とイモ植えをする私です。



ようやく「認知症サポーター」になりました

福居のいきいきサロン福寿会の7月は、認知症サポーター養成講座でした(7.17)。機会をいただけて感謝しています。地域包括支援センターの方がわかりやすく説明をしてくださいました。サポーターの数は、全国で1,000万人をこえ、岡山市では約4人です。皆さまもぜひと。



岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.45

2018年6月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2018年7月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji_oni/



市民力に感動。ともに「いのち」を尊ぶ復興を ～地域防災計画の見直しを。想定外は許されません～

岡山県にはじめての「大雨特別警報」

甚大な被害となった西日本豪雨。亡くなられた方には心からのお悔やみを、被災された方にはお見舞いを申し上げます。岡山市では、床上・床下浸水が7,600棟以上。今も避難所生活を続けている方がおられます。土砂崩れや路肩崩落。鉄道も運休しています(7.23)。農作物が全部だめになったという辛い声も聞きます。

私は1泊だけですが、避難所である京山中学校で過ごしました。我が家のすぐ裏にある半田山が土砂崩れをしたからです。暮らし始めて35年。考えてもいなかった出来事によもやという想いです。

町内会の皆さんはよく動かれ、民生委員の方々は高齢者などスムーズに移動できない方の家を訪ね、自力で移動できない方は警察が車で運ばれました。消防局はもちろん、消防団も奮闘。普段の活動やつながりがあるからだと敬意と感謝の一日でした。なかには、福祉避難所の協定を結んでいる高齢者施設に移動した方もおられました。



行政と市民がいっしょになって

私自身は地域や市内外の被災現場、泥出しボランティア、災害ごみ仮置場・避難所・ボランティアセンターなどに足を運んでいます。

あちこちで実感するのは、市民の皆さんの力です。被災当事者のがんばり、町内会やPTAなどの皆さん、市民団体・事業者などの取り組み、ボランティアの皆さん一人ひとりの熱意。変化する多様なニーズに応える支援が次々と展開されています。県社協とNPOセンターが中心になって、民間支援団体の支援ネットワークが立ち上がりました。被災者の声を聴き、行政と市民がともに復興に向けてとりくみましょう。

地球温暖化によってひきおこされた大水害です。治水に対するハード面の指摘もあります。亡くなられた方の多くが高齢者とい



と。避難勧告の出し方、避難の仕方、避難所のあり方などソフト面でもきめ細かい対応が必要です。「地域防災計画」のトータルな見直しが求められます。「想定外」はもう許されません。

おにき・のぞみ



*被災された皆さまには困っておられることなどご連絡ください。今回の災害に対してもご意見もお寄せください。

6月議会 個人質問から

質問項目

1. エネルギー関連対策と健康
2. 人権尊重のまちづくり
3. 新斎場



6月議会では、①JR桃太郎線（吉備線）のLRT（次世代型路面電車）化や路面電車の延伸・環状化など、公共交通の質問が相次ぎました。高齢社会を迎えて、大切な課題です。②もう一つ、認可保育園への未入園児童解消も今議会のポイントです。4月時点で1,447人（昨年度から48人しか減っていません）と多くの希望者が入園できていません。来年10月からの幼児教育の無償化をひかえて、迅速な対応が必要です。

ヒートショックと断熱

ヒートショックと呼ばれる暖かい部屋から寒い部屋への移動による急激な温度変化が体に与えるショックは、脳梗塞などの循環器系疾患になります。家庭の浴槽での溺死者数は、2015年に全国で5,138人です。12月から2月に集中し、そのうち65歳以上の高齢者が約9割。岡山市の浴室での急病の救急搬送人員にもその傾向があります。過去には、入浴中の急死者数は約19,000人と推計されました。

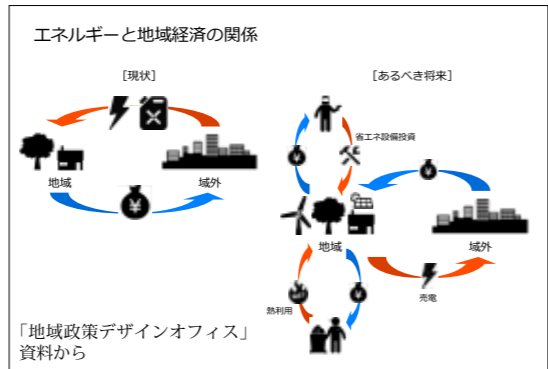
部屋から流出する熱の48%が窓から逃げています。ご自宅での急激な温度変化を防ぐため、高齢者宅が断熱改修を行う施策をするべきだと質問をしました。

岡山市には、環境面からの窓ガラスの断熱への助成はありますが、高齢者対応の「すこやか住宅リフォーム」制度には含まれていません。「すこやか住宅リ

フォーム」にも含めるべきだという質問がこの議会で別の議員からだされ、「検討する」ということでした。また、その窓口で、環境面からの助成があることを伝えることは可能ということでしたので、積極的に行っていただきたいです。

なお、消防局が入浴時の注意を促す啓発を行っているので、連携して、啓発ポスターを関連施設に配布するなど啓発を進めたいとのことでした。

エネルギーを地域で作り、循環させる



岡山県内で消費される輸入化石燃料のコストは年間約3,500億円です。この多額のお金が、今は、県内から海外に流れています。地域で再生可能エネルギーを作り、省エネ改修を進めれば、地域でお金を循環させて、地域に仕事も増やすことができます。

例えば長野県では、この考え方で施策を進めておられます。岡山市も域内循環をベースに進めてほしいと提案をしました。

人権尊重のまちづくり

◎人権教育及び人権啓発に関する基本計画素案について

・人権状況の認識は施策のベースです。素案では、「人権についての認識が深まってきていることが明らかになりました」としていますが、2013年度の人権意識調査結果は必ずしもそうではありません。一方、例えば、児童虐待の相談件数は右肩上がりに増えています。人権状況のていねいな分析を求めます。

・2016年12月に「部落差別の解消に関する法律」が公布・施行されました。「部落差別」と銘打った法律は初めてで、国や地方公共団体は相談体制の充実や教育啓発の推進に努めなければなりません。岡山市は同和問題を重要課題として位置づけています。現実を的確に把握し、施策を具体的に進めていただきたい。

◎さんかく条例（岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例）の改正

2001年制定の「さんかく条例」に、性的マイノリティの方々の人権などを盛り込

むための改正を、岡山市は検討中です。

市民との意見交換を行いながら検討を進めたいと、ワークショップを10月に予定。市民の意見を聞きっぱなしにしない、有効なワークショップを望んでいます。

新斎場

6月議会補正予算には、新斎場整備に伴うガス工事負担金2億6,400万円が計上されていました。ガス工事は、幹線道路だけでなく、生活道・通学路の下にも敷設される予定です。暮らしの身近に通るガス管、火葬場に用いる燃料など、火葬場に関連しての情報を知りたいと、近隣の皆さんが思うのは当然のことですが、もっとも近くに暮らす町内会の方には伝わっていませんでした。岡山市としては情報格差を生まないよう、意識してお伝えすべきことです。

また、産業廃棄物処分場跡地の下手にある高い擁壁は、南海トラフ巨大地震のときにも大丈夫なのか。災害時についても不安な要素があります。ていねいな話し合いが必要です。

しっかり取り組みたい！公共交通～高齢者が利用しやすい制度を～

◇大塚愛県議と総社市新生活交通「雪舟くん」の勉強に（5/23）。



ワンボックスカーでの乗り合いで、戸口から戸口まで。一人1乗車300円（中学生以上。減免あり）。利用者の8割以上がメインターゲットの60代以上です。

◇市民ネットでは、4月に富山市と新潟市を視察しました。富山市は交通事業者と連携した「おでかけ定期券事業」を展開。65歳以上の高齢者が市内各地から中心市街地に出かける時、公共交通利用料金を1回100円とする割引制度です。◇新潟市にも「高齢者おでかけ促進事業／シニア半わり」制度があり、65歳以上の方のバス運賃を半額に。

◇6月議会での質問あり。岡山市は消極的でしたが、要検討の課題です。

ワークショップ みんなで話そう、わたしたちのまちのこと

大塚愛県議と私で、6月9日に、4つのテーマでワークショップを行いました。4人の方からの話題提供も含めて、私たちの日々の暮らしが安心＆豊かになることを実感するご提案ばかりです。参加者の表情もイキイキして、次回が期待されます。

▽「エネルギーの地産地消」／延藤裕之さん（おかやまエネルギーの未来を考える会）

延藤さんは熊本地震で、お金があっても何もできない現実に直面。共同発電があったらよかったなあと思われたそうです。エネルギーの地産地消は、経済・仕事etcも含めての地産地消です。地球と太陽がある限り、「陽はまた昇る」と名言。

▽「ハンディがある子が育つ環境づくり」／横田一馬さん（こども発達支援センターばんばん）

横田さんは、ハンディとは子どもや家

庭にあるのではなく、社会との距離がある状態だと。保護者のネガティブな思いから、外出しにくく、孤立する傾向があるご家庭も。こどもに地域でよい経験をたくさんしてもらいたいと奮闘中。

▽「地域交通と移動支援」／中村守勝さん（移動ネットおかやま）

「修復しないといけない橋や道がたくさんあるのに、なぜ新しい道？」と税金の使い方をまず指摘。多様化する生活交通をわかりやすく解説していただき、自治体や地域で工夫されている実践の紹介を次々と。知恵を寄せて実践を。



▽「住民参加とまちづくり～こども食堂にかかりながら」／原明子さん（東山つながりキッチン）

こども時代からつながると、その先々もつながっていける。高齢者だって一人ぼっちもいる。こどもを中心に多様な人と出会います。人と人との温かいつながりを作り、「助けて」と言える地域づくりを目指しましょう。



岡山市消防局製作のポスター。バス車内に掲示

